



よいことの
ために
手を取りあおう

会報

WEEKLY REPORT

2025-26 R.I.会長

フランチェスコ・アレツツォ
第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長／荒木 樹

副会長／一宮 綾子

幹事／齊藤 政樹

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3184回 例会報告

2025.11.21

●例会日／金曜日〈12:30～13:30〉
●例会場／ホテル日航ノースランド帯広
●事務局／帯広市西3条南9丁目23 帯広経済センタービル東館3F
TEL 0155-25-7347

■点 鐘

荒木 樹 会 長

■開会宣言

及川 悟 S A A

■ロータリーソング（我等の生業）

■ゲスト紹介

十勝ロータリー奨学会令和7年度奨学生

葛西 怜汰郎 様

（北見工業大学工学部地域未来デザイン科1年）

帯広大谷高等学校 教諭 金沢 潤吉 様

■会 食

■会長挨拶

荒木 樹 会長



1. 国際大会への参加登録について

来年6月に台湾で開催される「国際ロータリー国際大会」への参加登録を完了した旨が報告されました。登録費は495ドルと、円安の影響もあり負担は軽くありませんが、会長は「世界のロータリアンと直接交流できるまたとない機会」と述べ、多くの会員に積極的な参加検討を呼びかけました。

国際大会は、ロータリー運動の最新の動向や国際協力の事例を学べる場であり、クラブの将来にとっても大きな刺激となることが期待されています。

2. モンゴルとの交流事業について

● 臨時理事会で方針を正式決定

臨時理事会にて、モンゴルとの交流事業に関する今年度の方針が協議され、以下の通り決定されました。

● 来訪者の歓迎

来年1月23日・24日に、モンゴルのロータリークラブ会員5名が帯広を訪問する予定となっており、当クラブとして正式に招待・歓迎することが

決まりました。交流会の開催や地域案内など、親睦を深める機会として準備が進められています。

● 遠隔医療機器寄贈（グローバル補助金）事業への不参加

昨年度より継続審議してきた「モンゴルへの遠隔医療機器寄贈事業」については、今年度は当クラブとして参画しないことが正式決定されました。

その理由として、

- ・会員数の減少
- ・インターアクトクラブ事業をはじめとする既存事業の負担増

が挙げられ、クラブ運営の持続可能性を優先した判断となりました。

なお、事業自体は地区（国際ロータリー第2500地区）が主体となって継続する方向で調整が行われており、当クラブとしては無理のない範囲での協力を続けていきます。

3. 十勝ロータリー奨学会 奨学生について

本日のプログラムでは、令和7年度十勝ロータリー奨学会の奨学生を招き、活動報告をいただきました。書類や申請だけでは見えない学生の姿や、地域への思いを直接伺う貴重な機会となりました。

■会務報告

斎藤 政樹 幹事

1. 今後の例会スケジュール

- ・11月28日（金）：休会
- ・12月5日（金）：例会にて「年次総会」を開催

年末に向けて行事が続きますので、会員の皆さまにはスケジュールのご確認をお願いいたします。



2. 年末家族会（クリスマスパーティー）のご案内

- ・日時：12月11日（木）18:30～
 - ・場所：ホテル日航ノースランド帯広
 - ・会費：2,000円
 - ・出欠回答：事務局へFAXにてご返信ください
- 毎年恒例の家族懇親会です。温かい時間を皆さまと共有できることを楽しみにしています。

3. 帯広ローターアクトクラブ クリスマス例会

- ・日時：12月5日（金）19:00～
- ・場所：十勝村

参加希望の方は、安倍青少年委員長までご連絡ください。

4. 国際大会参加意向書の提出

本日が回答の締切日となっており、参加を希望される方は事務局までFAXでの提出をお願いします。

■ニコニコボックスの発表 一宮 綾子 副会長
中村 浩和 会員

■プログラム

中村 浩和 十勝ロータリー奨学会委員長
十勝ロータリー奨学会令和7年度奨学生
葛西 怜汰郎 様
（北見工業大学工学部地域未来デザイン科1年）



広尾高校卒業。高校時代はインターアクトクラブに所属し、海岸清掃や地域イベント運営に積極的に参加してきました。

現在は大学生協学生委員会で活動し、学生生活の充実に貢献。将来的には大学院に進学し、十勝へUターンして地域に貢献したいとの希望を述べました。

奨学金は入学金・教材費などに有効活用されたとのことです。

和田 様（小樽商科大学1年）

※ビデオメッセージ

帯広大谷高校卒業。中小企業に関わる仕事を志し、マーケティング・仕入れ論などを学習中です。

「北海道のためになる知見を持ち帰りたい」と語り、英語学習にも力を入れていることが紹介されました。

■十勝ロータリー奨学会の意義と必要性



中村 浩和 十勝ロータリー奨学会委員長

●十勝の進学事情

- ・十勝管内高校卒業生2,860名のうち約60%（約2,140名）が進学
 - ・うち約2,000名が管外へ進学
 - ・家計負担は、
 - 国公立：約200万円／年
 - 私立：約280万円／年
- と大きく、多くの家庭で奨学金が不可欠となっています（進学家庭の約85%が奨学金を利用または検討）。

●十勝ロータリー奨学会の重要性

- ・返済不要の給付型奨学金として、地域内で極めて高い価値
- ・学生がアルバイト過多にならず、学業に集中できる
- ・地域の将来を担う若い世代を支援する、ロータリーの理念を体現する事業

今後も継続的な寄付と支援を通じ、奨学会の発展に取り組んでいくことが確認されました。

■次週のプログラム予定

「休 会」

■閉会宣言

及川 悟 S A A

■点鐘

荒木 樹 会 長

例会
案内

〈月曜日〉広尾RC:日高信金広尾支店
帯広南RC:北海道ホテル
芽室RC:めむろーどセミナー
帯広東RC:ホテル日航ノースランド

〈水曜日〉帯広RC:ホテル日航ノースランド
上士幌RC:川村福祉会館
音更RC:ハビオ木野

〈木曜日〉足寄RC:足寄銀河ホール21
清水RC:清水町中央公民館
帯広西RC:北海道ホテル

■出席報告／渡辺 紘生 出席委員長

会員数	計算に用いる 会 員 数	ホームクラブ 出 席 数	メイクアップ	欠 席	出席率
58					44.64%